

令和8年9月定例記者会見

令和8年8月19日（水）午前11時00分～

<主な発表項目>

令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨について被災された皆様にお見舞いを申し上げます。
本市の熊本への支援状況であるが、富山県派遣団の一員として、職員1名を熊本県宇城市へ派遣した。今後も引き続き、職員派遣をはじめとした支援要請に対応していく。

○令和8年度砺波市防災デー/砺波市総合防災訓練

防災月間に合わせ、9月27日（日）午前8時、「エフエムとなみ」や各地区消防分団器具置場のサイレン吹鳴により地震発生の訓練状況を付与し、「市民一斉シェイクアウト訓練」を実施する。

<被害想定>

- ・「砺波平野断層帯東部＋射水断層帯」の連動ケースを震源とする地震（震度7）を想定
- ・庄南地区を中心に建物の倒壊、ライフライン損壊、道路の寸断などの被害や負傷者が多数発生

■防災DXを活用した訓練

- ・令和7年に導入した「被災者生活再建支援システム」を活用して、今回は「アプリを使った被災建築物の応急危険度判定」訓練を実施
- ・現在、デモ運用をしている防災業務支援システム「ALERTON [アラートン]」を活用して、今回は被害情報・避難所情報の収集訓練を実施
- ・令和7年から運用開始している新物資システム「B-PLo [ビープロ]」を活用して、今回は避難所と災害対策本部が連携した物資の支援・受援訓練を実施

■福祉避難所開設・運営及び搬送訓練（連携訓練）

- ・複数の福祉関係機関による福祉避難所の開設・運営訓練を初めて実施

■応急給水訓練

- ・今年度導入した「組立て式仮設給水タンク」を設置し、給水車から給水を行う訓練を実施

■3地区（庄下・中野・太田地区）会場の主な訓練

- ・地区自主防災組織によるバット・テント設営など避難所開設・運営訓練を例年どおり実施

○2027 となみチューリップフェア開催基本計画の概要

<テーマ> 「春の扉 花ひらく」

<会 期> 4月22日（木）～5月5日（水・祝） 14日間

来年は76回目の開催であり、100回開催へ向かう「第4QUARTER」のスタートとなるフェアとして、春の扉を開いた先に色とりどりのチューリップ畑が広がるイメージをテーマとする。

南門周辺再整備事業による防災備蓄倉庫の完成に合わせ、文化会館南側の飲食店ブースを同倉庫へ移転し、空いたスペースを休憩ゾーンとして活用するほか、南門周辺のゾーニングを見直して賑わいを創出する。

また、会期前のプレイベントとして、ファームの開花状況に合わせた「チューリップファーム号」などの特別運行を計画している。

○「2027 となみチューリップフェア」台湾キャンペーンの実施について

「2027 となみチューリップフェア」や「庄川峡遊覧船」などの砺波市の魅力ある観光地へ、台湾からの誘客を強化するため、市及びチューリップ四季彩館職員、庄川遊覧船株式会社で構成するキャンペーン隊が台湾現地でセールスキャンペーンを9月21日（月・祝）～9月24日（木）まで実施する。なお、本キャンペーンについては、8月20日に再開する富山空港発着の台北便を利用して訪台する。

○8月補正予算関連議案等の概要